

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

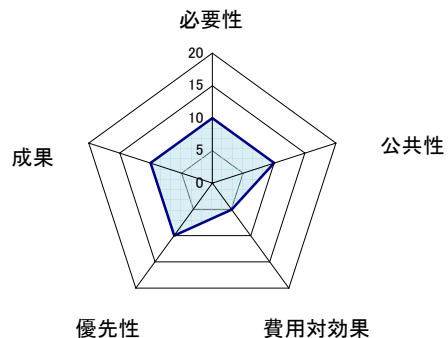
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点 | 評価コメント（100字以内）  |
|-------------------------------|---|-----|---|
| (1)必要性<br>(市民ニーズ)             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点) ○<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | 10  | 60歳以上の市民に働く場を一定確保してきた。  |
| (2)公共性<br>(市が行わなければならないか)     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点) ○<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | 10  | 国は失業や早期退職の現状を生み出す一方で年金支給開始年齢を繰り延べし老後も働かなくては食べていけない不安な状況をつくり、その受け皿として全国にセンターをつくってきた。あるべき姿としては疑問。 |
| (3)費用対効果<br>(コストに見合った成果があるか)  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点) ○<br>⑤非効果的である(0点)                | 5   | 会員のなかでは就業率が高いが、会員数は横ばい。2008年度は事務所移転があったが、全市的観点でみると、利便性の高い場所とはいえない。                              |
| (4)優先性<br>(他事業に優先し実施する必要があるか) | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点) ○<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | 10  | 現状ですぐに手を引くことはできないが、国・都の高齢者の雇用政策や社会福祉の状況が変わると、市としての補助金の必要性は低くなると考えられる。                           |
| (5)成果<br>(目標の達成状況)            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点) ○<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | 10  | 高齢者の職の確保、市の施設の管理や窓口対応でも役割を果たしている。しかし、同じ組織・運営では、会員数増にはつながらず、国や都の高齢者政策も見えず根本的な改善を図る必要がある。         |

## 2 全体評価（事前評価）

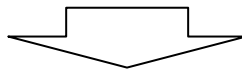
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 都の支出金もあり、市の単独事業ではないが、すべての項目が高いとはいえ、事業としての再考が必要。昨年度は移転のために補助金を平年に比べ、3千万円上乘せしているが、新しい事務所のありかた、組織運営など、もっと市民に明らかになるようにすること。市としても4千万円以上の補助金の必要性を明確にすることが求められる。



第1次評価レーダーチャート

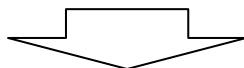
## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由(150字以内)   |
|----|--------------------|-------|--|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 45    | 1980年に「高齢者事業団」として発足してから30年近い。「おおむね適正」の基準に数値的には達しているが、高齢者が安心して働ける場をつくるという点で、今後の根本的な見直しが必要である。 |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |  |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |  |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |  |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |  |



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

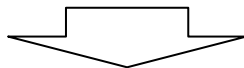
通常4,000万円程度の補助金が、2008年度は、事務所移転や子育て支援施設の設置などのために、3,000万円増の7,000万円レベルになっているので、その内容を質した。会員数も横ばい状況で増加の動きもない点、配分金が少なく「生活」を支えるという状況にはなっていないなど、高齢者の要求からみると問題に思われる点についても質疑、それがシルバー人材センターという制度のなかでは限界があることを明確にした。また、「子育て支援施設」の利用者が伸び悩み、市民要求とサービス内容がミスマッチではないかと指摘した。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

現在の社会状況からみると、多くの高齢者が、「働いて生活を支える賃金を得なくてはならない」という事態に追い込まれている。こうした点では、労働という位置づけがなく、最高で「月5～6万円」程度の収入しか得られない、現在のシルバー人材センターの仕組みでは限界がある。また、組織的にみても「民主的な運営で信頼関係を築いているか？」という点では不十分さが感じられる。



#### 6 第2次評価(修正・今後の方向性)

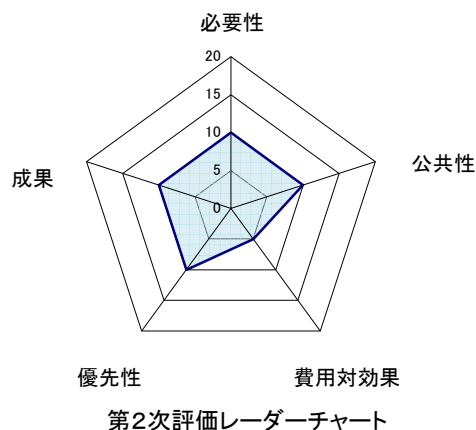
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内)  |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|---|
| 3  | 45    | 10     | 10     | 5        | 10     | 10    | 数値的評価は一定の点数に達するが、解決すべき点は多い。一定数の高齢者の働く場の確保になっている点、また市の業務の多くを支えている点などを考えると、改善すべき点を少しでも変える努力が必要。 |

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

都の支出金もあり、市の単独事業ではないが、すべての項目が高いとはいえず、事業としての再考が必要。昨年度は移転のために、平年に比べ補助金を3,000万円上乘せしているが、新しい事務所のありかた、組織運営などもっと市民に明らかになるようにすること、市としても4,000万円以上にもなる補助金の必要性を明確にすることが求められる。また、昨年度準備され、今年度から運営が始まった「子育て支援施設」は、月数件の利用しかなく、保育園の待機児童が200人を超える現状を考えると、「需要に合わない」条件だったことが明らかで、役に立たないのは問題。急いで改善するとともに、事業の企画段階からの問題点を明らかにすべき。



(3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内)  |
|----|---|---|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | シルバー人材センターは、1980年に「高齢者事業団」として発足してから30年近い歴史をもつ。「おおむね適正」の基準に数値的には達しているが、今後、高齢者が安心して働ける場をつくるという点では、国レベルの労働政策の見直しもふくめ根本的な見直しが必要である。 |

※特記事項(200字以内)

組織内の「風通しのよさ」の点で改善を求める声がある。当事者同士の話し合いにまかせず、「適性審査委員会」についても民主的な運営のための改善が必要。そうした前向きな、具体的な取り組みが、組織運営の今後の改善につながるのではないかと補助金を出す側の市の適切な指導も不可欠。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

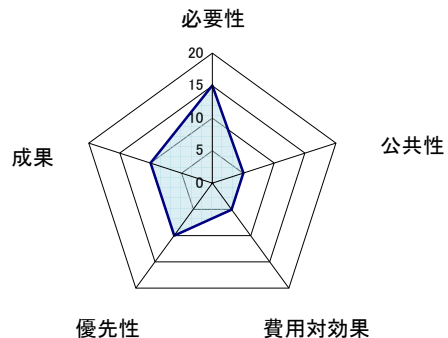
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点     | 評価コメント（100字以内）                 |
|-------------------------------|---|---------|--------------------------------|
| (1)必要性<br>(市民ニーズ)             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○<br>15 | 高齢者の短期の就労として必要性がある。高齢者にも関心が高い。 |
| (2)公共性<br>(市が行わなければならないか)     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | ○<br>5  | 民間の発想で仕事を受注することが必要でないか。        |
| (3)費用対効果<br>(コストに見合った成果があるか)  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | ○<br>5  | 民間の発想で改善が必要。市からの補助が多い。         |
| (4)優先性<br>(他事業に優先し実施する必要があるか) | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○<br>10 | 高齢者の就労支援が望まれている。               |
| (5)成果<br>(目標の達成状況)            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | ○<br>10 | 会員数や仕事量からもう少し努力が必要ではないか。       |

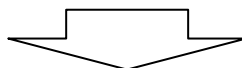
## 2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 高齢者が年々多くなるが就労者が多くない。受託事業が就労者の望むものと成っていないのではないか。また、社会状況の悪化も影響していると思われる。受託を増やし高齢者の就労支援は継続すべきです。センターに対する会員からの苦情が多い。

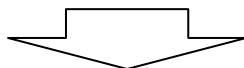


## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由(150字以内)  |
|----|--------------------|-------|---|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 45    | 今の60歳以上の人は将来の生活不安から、一定の金額の報酬を求めている。就労者の要望に応えていないのではないか。 |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |   |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |   |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |   |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |   |

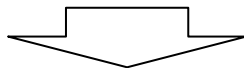


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



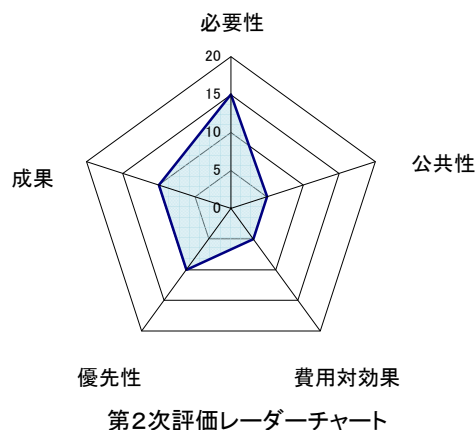
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内) |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|--------------|
| 3  | 45    | 15     | 5      | 5        | 10     | 10    |              |

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内)                                       |
|----|---|--|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | 組織の硬直化が見られる。常に新鮮で活力ある、魅力あるシルバー人材センターとして改善していただきたい。 |

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

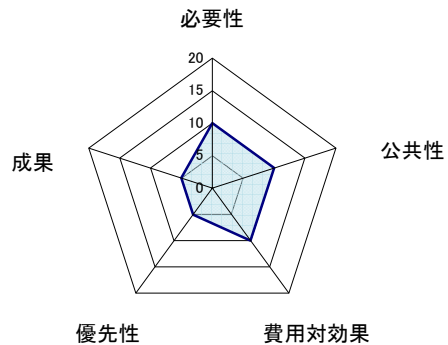
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点 | 評価コメント（100字以内）                 |
|-------------------------------|---|-----|--------------------------------|
| (1)必要性<br>（市民ニーズ）             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点) ○<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | 10  |                                |
| (2)公共性<br>（市が行わなければならないか）     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点) ○<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | 10  |                                |
| (3)費用対効果<br>（コストに見合った成果があるか）  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点) ○<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | 10  |                                |
| (4)優先性<br>（他事業に優先し実施する必要があるか） | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点) ○<br>⑤優先性がない(0点)                    | 5   |                                |
| (5)成果<br>（目標の達成状況）            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点) ○<br>⑤成果はあがっていない(0点) | 5   | 専門性を求められる仕事では、市民からの苦情や不満の声も多い。 |

## 2 全体評価（事前評価）

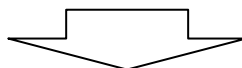
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
高齢者の就労支援はきわめて大切な施策だが、会員数が増えていないことに大きな問題を抱えていることが垣間見える。多額の補助金をあてにして運営するのではなく、市民に求められる成果をられる事業にすべきである。



第1次評価レーダーチャート

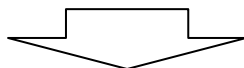
## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由（150字以内） |
|----|--------------------|-------|--------------|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 40    |              |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |              |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |              |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |              |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |              |



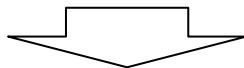
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Yellow box for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)  
[Yellow box for current social situation]



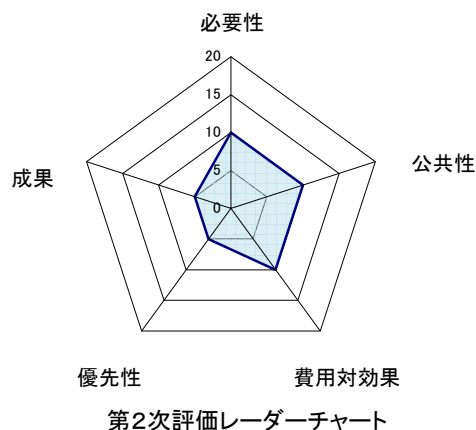
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内)                        |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|-------------------------------------|
| 3  | 40    | 10     | 10     | 10       | 5      | 5     | [Yellow box for overall evaluation] |

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
[Yellow box for evaluation comments]



#### (3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準         | 判定理由(200字以内)                   |
|----|--------------|--------------------------------|
| 3  | 5 拡充する       | [Yellow box for justification] |
|    | 4 現状のまま継続する  |                                |
|    | 3 改善・効率化し継続  |                                |
|    | 2 見直しのうえ縮小する |                                |
|    | 1 休止・廃止      |                                |

#### ※特記事項(200字以内)

会員数を増やすには職種や就労形態を増やすことが必修である。潜在的ニーズはまだあるはずである。ニーズを掘り起こすことに力をそそいでほしい。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

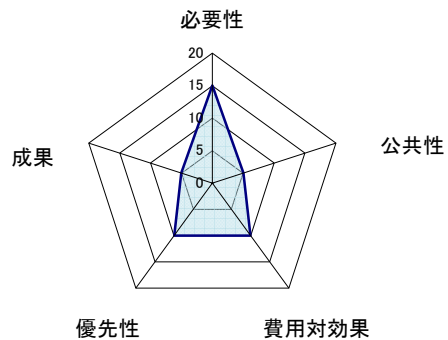
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点     | 評価コメント（100字以内）                     |
|-------------------------------|---|---------|------------------------------------|
| (1)必要性<br>(市民ニーズ)             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○<br>15 | 高齢者の経験を生かして社会に貢献してもらうのは必要である。      |
| (2)公共性<br>(市が行わなければならないか)     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | ○<br>5  | 高齢者の働く場を提供し、雇用安定を図るべきである。          |
| (3)費用対効果<br>(コストに見合った成果があるか)  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | ○<br>10 | 行政・センターの連携が必要であるが、センターの主体性が問われている。 |
| (4)優先性<br>(他事業に優先し実施する必要があるか) | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○<br>10 | 就労確保は緊急の課題である。                     |
| (5)成果<br>(目標の達成状況)            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | ○<br>5  | センター自ら就労先を開拓すべきである。                |

## 2 全体評価（事前評価）

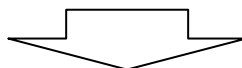
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



第1次評価レーダーチャート

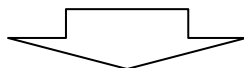
## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由（150字以内） |
|----|--------------------|-------|--------------|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 45    | 総合的に判断した。    |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |              |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |              |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |              |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |              |



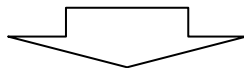
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)  
[Blank area for current social situation]



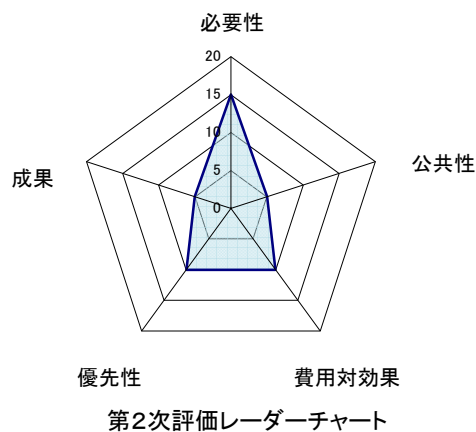
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1) 必要性 | (2) 公共性 | (3) 費用対効果 | (4) 優先性 | (5) 成果 | 全体評価(100字以内) |
|----|-------|---------|---------|-----------|---------|--------|--------------|
| 3  | 45    | 15      | 5       | 10        | 10      | 5      | 再度、総合的に判断した。 |

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
[Blank area for evaluation comments]



#### (3) 今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内) |
|----|---|--------------|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | 総合的に判断した。    |

※特記事項(200字以内)  
[Blank area for special notes]

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

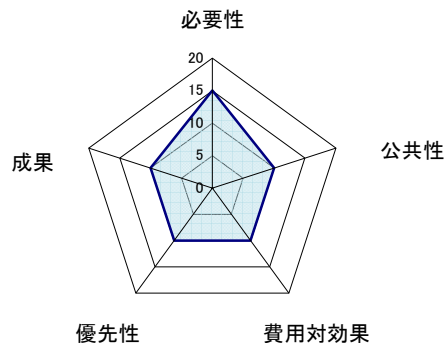
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点     | 評価コメント（100字以内）  |
|-------------------------------|---|---------|---|
| (1)必要性<br>(市民ニーズ)             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○<br>15 | 元気な高齢者の社会参加、生きがいつくり、健康増進を進めることは、介護予防の意味でも、高齢化社会に向けてさらに必要になる。          |
| (2)公共性<br>(市が行わなければならないか)     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | ○<br>10 | 国が設置を決め、都や市の助成により軌道に乗せた。一定の助成は今後も必要だが、公益社団法人認定後は、寄付の誘導など側面からのバックアップを。 |
| (3)費用対効果<br>(コストに見合った成果があるか)  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | ○<br>10 | ...   |
| (4)優先性<br>(他事業に優先し実施する必要があるか) | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○<br>10 | (1)必要性に同じ   |
| (5)成果<br>(目標の達成状況)            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | ○<br>10 | 会員数、就業率、受託件数、受託額ともに上げている。あくまでも「ちょボラ」の範囲では成果を上げている。                    |

## 2 全体評価（事前評価）

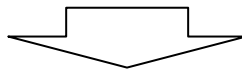
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 まだまだ必要な事業であり、市は支援すべきだが、小遣い程度の収入で社会の役に立ちたい高齢者と、生活資金の一部としての収入を期待する高齢者が混在している。まだまだ現役の方のためには、創業支援事業、市民活動情報センターとの連携による発展も視野に入れてはどうか。



第1次評価レーダーチャート

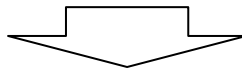
## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由(150字以内) |
|----|--------------------|-------|--------------|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 55    | 上記を総合して。     |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |              |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |              |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |              |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |              |



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

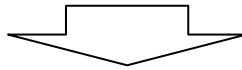
子育て支援の一助となり得る保育事業は、単なる周知不足か、安全面での不安からか、まだまだ利用されていない。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

求職のための保育ニーズも高まり、市内待機児の解消は依然として大きな課題。シルバー人材センターでの子育て支援事業は、孤独な子育ての悩みを聴いてもらえることも合わせて、一時保育の一助にはなり得る。



#### 6 第2次評価(修正・今後の方向性)

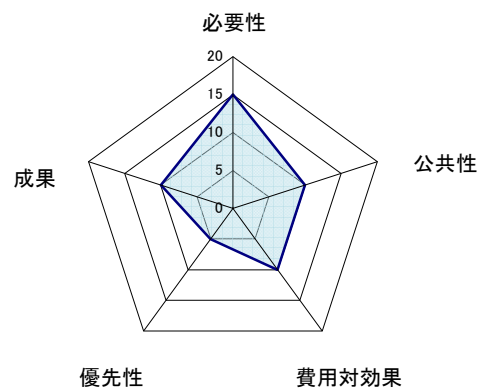
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内)  |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|---|
| 3  | 50    | 15     | 10     | 10       | 5      | 10    | 高齢者就業のワンストップサービスとして、また介護予防や健康増進の面からも一定の成果を上げている。今後は、社協や包括との情報交換などから、力を発揮できる場所を地域に見出すことも考えられる。 |

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

生活に困窮している高齢者への支援としては、大きな力は発揮できない事業。緊急性は低い。こうしたワンストップサービスでは、同じニーズが障がい者にもあるにも関わらず、そちらにはこうした機関はない。市は、組織運営の改善や公開など求め、市民に対しては補助金の必要性の説明責任を果たしてほしい。



第2次評価レーダーチャート

#### (3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内)   |
|----|---|--|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | 健康増進や就業についての成果は一定あるが、助成金なしでは運営できない構造は、社団法人化してもすぐには解決しないだろう。運営体質の改善や運営自体の透明性を高めるよう求め、様々な経験を地域で活かせるよう、市はバックアップしてほしい。 |

#### ※特記事項(200字以内)

希望職種への偏りによる待機者対策に、将来はハローワークとも連携しては。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

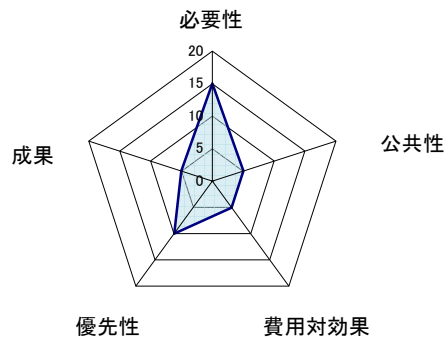
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点                     | 評価コメント（100字以内）  |
|-------------------------------|---|-------------------------|---|
| (1)必要性<br>（市民ニーズ）             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○<br><br><br><br><br>15 | 高齢者の知恵と経験を社会に還元し、いくつになっても生きがいを持って活躍できる社会を作ることは必要。また、活躍したいと願う高齢者も多い。 |
| (2)公共性<br>（市が行わなければならないか）     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | <br><br><br>○<br><br>5  |   |
| (3)費用対効果<br>（コストに見合った成果があるか）  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | <br><br><br>○<br><br>5  |   |
| (4)優先性<br>（他事業に優先し実施する必要があるか） | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○<br><br><br><br><br>10 |   |
| (5)成果<br>（目標の達成状況）            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | <br><br><br>○<br><br>5  |   |

## 2 全体評価（事前評価）

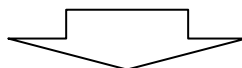
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



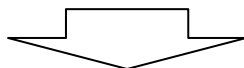
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由(150字以内) |
|----|--------------------|-------|--------------|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 40    |              |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |              |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |              |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |              |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |              |

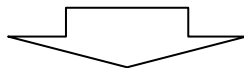


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



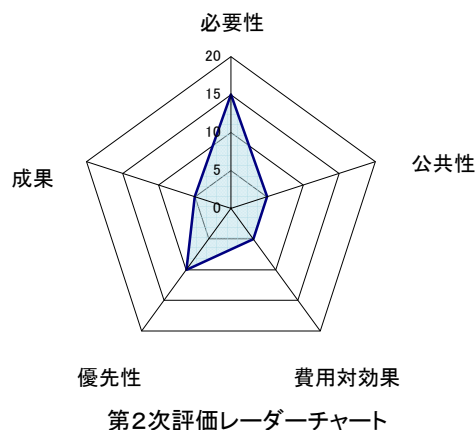
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内) |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|--------------|
| 3  | 40    | 15     | 5      | 5        | 10     | 5     |              |

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内)   |
|----|---|--|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | これから増える高齢者に対する受け皿として十分な機能が果たせるかどうかを試されている。高齢者を含む切実な就労希望に応えられなければ存在意義そのものが問われる。 |

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

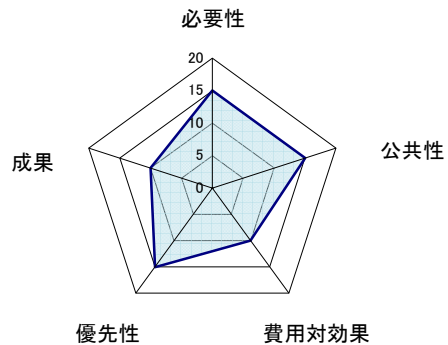
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点     | 評価コメント（100字以内）                     |
|-------------------------------|---|---------|------------------------------------|
| (1)必要性<br>（市民ニーズ）             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○<br>15 | 団塊世代の退職により、高齢者が増え、その就業機会の拡大は必要である。 |
| (2)公共性<br>（市が行わなければならないか）     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | ○<br>15 | 一定程度の補助金は、行政との役割分担をし、必要である。        |
| (3)費用対効果<br>（コストに見合った成果があるか）  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | ○<br>10 | 就業実人数、受託件数、契約件数が増加しており、効果が見られる。    |
| (4)優先性<br>（他事業に優先し実施する必要があるか） | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○<br>15 | 高齢者の増加により優先性も高くみられる。               |
| (5)成果<br>（目標の達成状況）            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | ○<br>10 | 就業者数の増加により一定の成果が見られる。              |

## 2 全体評価（事前評価）

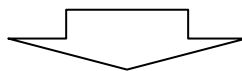
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
必要性、公共性、優先性は高く、これからも高齢者の就業機会の確保のためには、必要な事業である。



第1次評価レーダーチャート

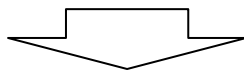
## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由（150字以内）        |
|----|--------------------|-------|---------------------|
| 4  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 65    | 費用対効果と成果は、今後の課題である。 |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |                     |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |                     |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |                     |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |                     |



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

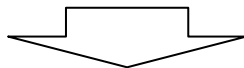
[Blank area for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

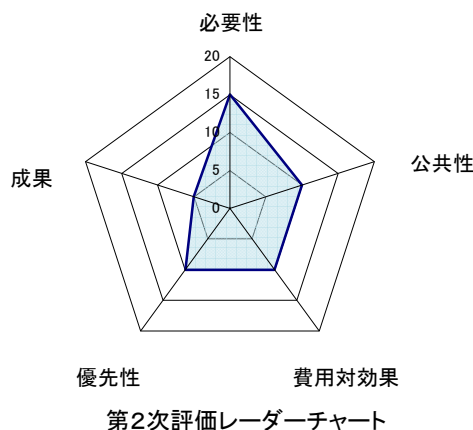
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内)                        |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|-------------------------------------|
| 3  | 50    | 15     | 10     | 10       | 10     | 5     | [Blank area for overall evaluation] |

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

優先性は、現状でよいと思うので、一つランクを下げました。公共性については、65歳以上の高齢者の約8割は、介護を必要としない元気な方なので、健康維持を続けて頂きたいと思えます。ゆえに自立を目指して頂く上で、ランクをひとつ下げました。



#### (3) 今後の方向性

| 評価 | 評価基準         | 判定理由(200字以内)                   |
|----|--------------|--------------------------------|
| 3  | 5 拡充する       | [Blank area for justification] |
|    | 4 現状のまま継続する  |                                |
|    | 3 改善・効率化し継続  |                                |
|    | 2 見直しのうえ縮小する |                                |
|    | 1 休止・廃止      |                                |

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

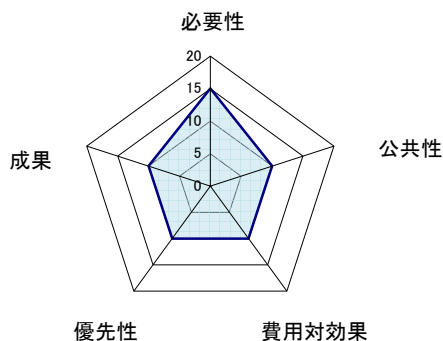
| No. | 予算科目 | 事業名            | 事業報告書詳細ページ |
|-----|------|----------------|------------|
| 4   | 民生費  | シルバー人材センター助成事業 | 495        |

## 1 項目別評価（事前評価）

| 評価項目                          | 評価基準（該当右欄に○）  | 評価点  | 評価コメント(100字以内) |
|-------------------------------|---|------|----------------|
| (1)必要性<br>(市民ニーズ)             | ①きわめて必要性が高い(20点)<br>②必要性が高い(15点)<br>③どちらかといえば必要性がある(10点)<br>④必要性が低い(5点)<br>⑤必要性がない(0点)                    | ○ 15 |                |
| (2)公共性<br>(市が行わなければならないか)     | ①市が行わないといけない(20点)<br>②公共性が高い(15点)<br>③どちらかといえば市が実施(10点)<br>④公共性が低い(5点)<br>⑤公共性がない(0点)                     | ○ 10 |                |
| (3)費用対効果<br>(コストに見合った成果があるか)  | ①きわめて効果的である(20点)<br>②効果的である(15点)<br>③どちらかといえば効果的(10点)<br>④どちらかといえば非効果的(5点)<br>⑤非効果的である(0点)                | ○ 10 |                |
| (4)優先性<br>(他事業に優先し実施する必要があるか) | ①きわめて優先性が高い(20点)<br>②優先性が高い(15点)<br>③どちらかといえば優先性がある(10点)<br>④優先性が低い(5点)<br>⑤優先性がない(0点)                    | ○ 10 |                |
| (5)成果<br>(目標の達成状況)            | ①きわめて成果があがっている(20点)<br>②成果があがっている(15点)<br>③どちらかといえばあがっている(10点)<br>④どちらかといえばあがっていない(5点)<br>⑤成果はあがっていない(0点) | ○ 10 |                |

## 2 全体評価（事前評価）

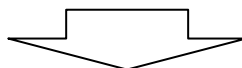
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



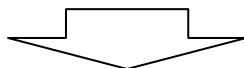
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

| 評価 | 評価基準               | 合計評価点 | 判定理由(150字以内) |
|----|--------------------|-------|--------------|
| 3  | 5 きわめて良好である 80点以上  | 55    |              |
|    | 4 適正である 60～79点     |       |              |
|    | 3 おおむね適正である 40～59点 |       |              |
|    | 2 問題がある 20～39点     |       |              |
|    | 1 不適正である 19点以下     |       |              |

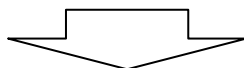


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



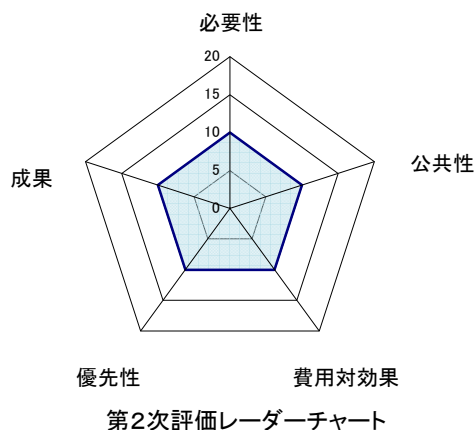
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

| 評価 | 合計評価点 | (1)必要性 | (2)公共性 | (3)費用対効果 | (4)優先性 | (5)成果 | 全体評価(100字以内)  |
|----|-------|--------|--------|----------|--------|-------|---|
| 3  | 50    | 10     | 10     | 10       | 10     | 10    | 子ども支援事業も4月～7月までは20名と少人数で、3年間の援助とマッチされていない。市民ニーズは、長くあずかる方法とマッチしていない。 |

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

| 評価 | 評価基準  | 判定理由(200字以内)                     |
|----|---|----------------------------------|
| 3  | 5 拡充する<br>4 現状のまま継続する<br>3 改善・効率化し継続<br>2 見直しのうえ縮小する<br>1 休止・廃止 | 高齢者の経験と能力を活かし、自立性を高める運営の改善を望みたい。 |

※特記事項(200字以内)